

たまがったあー! オオウナギ発見!...

笛吹在に住むDさんは、散歩が日課だ。その日も、いつものようにいつものコースを歩いていた。ひんやりとした風になびくススキの穂が、秋の深まりを感じさせる。まわりの田んぼはきれいに耕耘され、来春の米づくりまでひと休止している。

季節の移りを感じながらの散歩は、とても気持ちがいい。

ふとそばにある水路の柵を覗いた時だ。「なんか居る。なんやあれ?」「ウナギか。いやデカすぎる。」これまで一度も見たこともない生きものが、狭い柵の中で静かにうごめいている。時々、しっぽが水面に出てまわりのアメンボたちを追いかける。ハテどうしたもんか・・・

悶々としているところに、たまたま通りかかった近所のSあんちゃん。

「アヨー。ありゃウナギばい。捕まえようぜ。」

すぐに近所のKさんに連絡。こりゃまた、昔取った杵柄のKさん。ウニ採り用の長いイソカキと大きなタモアミを持って現場へ直行。一目見て、あまりの大きさにウナギだとは信じられなかったそう。ホントにウナギなのか・・・?

「柵の中じゃけん、逃げられんてんよかったい。そるばちタモですくちでん、あばれち飛び出すとたいな。おもたかてんタモン杵が折れちな。アヨー。30分以上かかったてん。」

興奮気味に話すKさん。捕獲した後も、その大きさや色合い(模様)、顔の表情などから、「ウナギじゃなかつちなかつな・・・。」と疑っていたらしい。

調べてみると、日本に生息するウナギは、「ニホンウナギ」と「オオウナギ」の二種類。捕獲した個体は、長さ120cm、胴回り30cm、重量は10キロ近くある大物で、特徴的な模様などからも、正真正銘「オオウナギ」だということが判明しました。

図鑑などによると、太平洋とインド洋の熱帯・亜熱帯地域に広く分布し、日本では利根川以西・長崎県以南の暖流に面した地域に生息地が点在する。地方によっては、「カニクイ」という呼び名のところもある。熱帯性の種であるため、九州以北では目にする機会が少ない。1999年に公表された環境省レッドリスト(絶滅危機種)には記載されていないが、オオウナギの生息地は各地で天然記念物に指定されている。ということだ。

それにしても、なぜオオウナギがあつた水路の柵のところで発見されたのか。周りを見渡すと、柵から50mほど上流に直径10mほどのダンボ(小さなため池)がある。おそらくそこが棲み処(すみか)だったに違いない。しかし、いつの頃からそのダンボに・・・周辺の田畑の改良工事・畑総事業が行われたのは、平成5年。熱帯外洋域の深海で孵化した稚魚が暖流にのって小値賀の西目海岸にたどり着き、新しい水路を遡上して棲みついたのかもしれない。

ウナギ採り名人のTさんに話を聞くと、数年前、前方方面(殿崎)のため池で一度釣り上げたことがあるそうだ。リリース(逃がす)したので、今も生きていられるかもしれない。「海の魚も南方系が増えているが、ウナギも同じやね。地球温暖化の影響やな。」ということでした。

長崎市樺島の井戸に住むオオウナギは、大正12年に国の天然記念物に指定されている。生息地の北限ということだが、わが小値賀はさらに北に位置するので、小値賀での生息は貴重な発見です。※町民の皆さま。珍しいものを見つけたら教育委員会へご連絡ください。(文責 山本 千明)



お酒と健康

健康診断を受けました。検査を受けながら、なつかしく思い出したことがあります。小値賀へUターンする前、人間ドックに行った時のことです。すべての検査が終わった後、お医者さんとの問診がありました。突然、先生が「山本さん! お酒は毎日飲んでらっしゃるんですか!」と問い詰めるようにおっしゃるので・・・

「先生。自慢じゃないですけど『継続こそ力なり』という言葉があるじゃないですか。他のことは、三日坊主で終わることの多い私ですが、こと、このお酒に関しては1年365日、1日も欠かしたことがないんですよ。」と胸を張って答えました。すると・・・

「山本さん! そりゃー『継続こそ力なり』ではなく『継続こそ病気』ですよ。」と真顔で言われたのです。思わず・・・

「先生! うまい!! 一本取られました。」

私は一人で盛り上がり、立ち上がり、ついには先生と握手までしてしまいました。

帰り際に「週に1、2度休肝日を設けてください。」とのアドバイスをいただいたので「わかりました。一本取られたので、敬意を表して努力します。」

と答え、深々と頭を下げ、診察室を後にしました。その時は、本気でした・・・

ところが意志の弱い私は、その後ほんの一回休肝日を設けただけで、先生との約束を反故にしてしまったのです。(先生、すみませーん。)

あれから何年経ったのか・・・その時のお医者さんの顔すら忘れ、相も変わらず毎日晚酌を続ける自分がいる。

まいにち美味しく飲むため、とにかく「汗をかく」。農作業でしっかり身体を動かし、汗を出す。出し足りないときには、ランニングに出て晩酌に備える?。そして、風呂。汗を流しながらゆったりと一日をふりかえる。「ああ、今日もいい一日だった。」と。

湯上りに、ワクワクしながらまずは缶ビール。大きめのグラスに三回に分けて注ぎ、泡が落ち着いたところでグイッといく。うまい。脳天までしびれる感じた。つまみは、その日のおかず。特に、好き嫌いはない。日頃は、缶ビール1本だが、汗をたくさん出した日にはつい2本目に手が出ることもある。

ビールのあとは、日本酒か焼酎。その日の気分でも左右されるが、主にその日のおかずで判断する。だいたい魚系・アッサリ系だと日本酒、肉系・コッテリ系だと焼酎というのが定番。それぞれ一合を目安にしているが、守れたためしはない。

つまみはよく食べる。何でも食べながら飲む。食べずにアルコールだけ・・・は、からだに良くないそうだ。つまみのおかずがなくなると、自家製の塩ウニや茹でピーやそら豆。時には、市販の豆類やチーズや乾きもん。そうしているうちに、トロリトロリと酔っていく・・・

さて、健康診断の結果は?ということ、いつもの耳の聞こえが悪いのに加え自慢だった視力が落ちていた。いよいよ老いの始まりか・・・。それに加え、胃も少々荒れていた。もしかすると休肝日導入時期のサインかもしれない。お酒と健康の両立のために。

追記 「酒は百薬の長」との言葉があるが、なんと続きがあるそうだ。な、な、な、なんと、、、「されど万病の元」と続くらしい。自戒したい。※左党・上戸のみなさん。年末年始、飲みすぎに注意しまっしょよ。

みなさま、よいお年をお迎えください!!



おぢかこうみんなかんだより

第173号 令和2年12月7日発行

3世代交流グランドゴルフ大会開催!

11月8日(日)小値賀町総合運動公園グラウンドにおいて、「3世代交流グランドゴルフ大会」を開催しました。

36名の参加者が6人一組の6チームに分かれて、AコースとBコース各8ホール、計16ホールを回り、そのスコアを競い合いました。参加者の皆さんは、「子どもは上達するのが早かね〜。」と子ども達に感心しつつ、「今は、強かったな」や「今日は運がいいはずやけどな〜」などプレイするのを楽しみ和気あいあいと大会に臨んでいました。

閉会式では優勝チーム、個人賞(大人、小人各1~3位)、ブービー賞の表彰を行いました。個人賞(大人部)福田孝子さん、(子ども部)森玲香さんでした。また、ホールインワンが2名出るなど、皆さん好成績を残していました。



青少年劇場「みんなで大笑い!」東西寄席

11月11日(水)に小値賀小学校体育館において、青少年劇場が開催されました。今年は、伝統芸能の落語(江戸落語,上方落語)と紙切りを観賞しました。

中でも、紙切りでは、子ども達の要望に応えるという演出では、大人気の鬼滅の刃主人公、竈炭次郎(かまとたんじろう)と要望が上がった時に、「本当にできるのか?」と子ども達も先生方も完成を楽しみにしていました。出来上がった作品を見たときには、参加者のみなさん驚きの声上がり、拍手が体育館中に響いていました。

コロナ感染症予防対策のため、保護者や一般参加、体験コーナーの実施はなかったものの楽しく、有意義な時間となりました。



山学校出前講座開催

11月21日(土)と29日(日)、総合センター市民ホールにおいておぢか山学校出前講座「電気をつくる省エネ講座」と「科学実験教室」が開催されました。

21日の講座では、九州電力株式会社五島営業所から3名の講師をお迎えし、手回し発電機を使った実験やけん玉づくりをしました。29日の講座では、長崎大学から2名の講師をお迎えし、「水素ロケットを飛ばそう」と「化石のレプリカ作り」をテーマにした様々な実験・工作が行われました。今回で5回目となる科学実験教室また、電気をつくる省エネ講座ですが、講師参加者共に充実した時間を過ごしていました。



~図書館からのご案内~

◆ 新しくいった本 ◆

※購入本の一部をご紹介します!

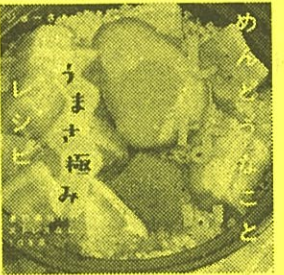
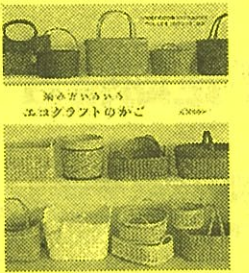
【一般書】(小説以外の本)

- ◆心に折り合いをつけてうまいことやる習慣
- ◆世界を震撼させた歴史の国日本
- ◆理不尽な国ニッポン
- ◆おひとりさまの親と私の「終活」完全ガイド(日経BP)
- ◆患者が絶えないカリスマ眼科医がやっている失明しない習慣
- ◆職場での「自己肯定感」がグーンと上がる大全
- ◆和布でスマホ入れ、ポシェット、リュック(プティック社)
- ◆めんどろなことにしないうまさ極みレシピ
- ◆おせちと一緒に作りたい お正月のもてなし料理
- ◆編み方いろいろエコクラフトのかご

[中村 恒子]
[高山 正之(他)]
[ジャソ=マリ・アィ]

[平松 類]
[井上 智介]

[ジョーさん。]
[上島 亜紀]
[荒閑まゆみ]



大盛況!でした

10/6~11/8まで開催した【ウォーリーをさがせ!】には、沢山の子どもたちが参加してくれました。

図書館の中に隠れているウォーリーたちを10人捜してキーワードを完成させるこのイベント。隠す場所を変え、何度でも楽しめるようにした所、なんと4回も参加してくれた子どもさんもいました!

普段見ることがない棚を見て回ること、新たな発見があったようです!

小学2年生が図書館見学!

10月29日(木)に図書館見学に来てくれました! 図書館の様子を調べたり、質問をしたりすることで、公共施設の利用の仕方を学習してもらいました。

今後もたくさん図書館を利用してくださいね!



★ クリスマス関連資料展示中 ★

絵本やCDなどを展示貸出しています。
ご自宅でクリスマスを楽しんでみませんか?

遊遊句抄

11月【兼題】 小春(こはる)、落葉(おちば)
石路の花(つわのはな)

新築の鶏小屋成れり小春の日 遠巻きに石路花巡る聖堂かな	松月
給硝子の聖堂射し込む小春かな ほどほどに今の暮しや石路の花	香松
園児らの路地行く声よ島小春 カサコソと夜中を遊ぶ落葉かな	紫紅
小春なり小屋とるなり小畑で 磯伝い行けば遠近石路の花	虫砂男
白日の人影長き小春かな 落葉して陽の透りたる獣道	値賀助
潮騒の浦を照らすや石路日和 水底の落葉は空を懐かしむ	月歩
語りたき事もあふれてけふ小春 枯松の落葉降り積む島の朝	一穂
小春日や駐車混み合うターミナル 落葉搔松の緑が消えにけり	利石
小春日や孫に教わるBTS 一面の落葉踏む足力込め	小梅
アーケード抜けて広がる小春空 招かざる落葉ポーチに吹きだまり	増円
小春日に鍬も光りてありがとう 石路の花喪中につきのハガキ来る	百笑